

急性期看護学実習

担 当：成人保健・看護学教室
責任教員：教授 山本則子

実習施設：東京大学医学部附属病院

実習期間：2022年9月5日（月）～9月16日（金）毎週月～金曜日

実習時間：午前8時～午後4時

1. 目的

既習の知識、技術への理解を深め、成人看護実践の基礎的能力を向上させる。

2. 目標

- 1) 外科的治療を受ける成人患者1人を担当し、患者の疾患・治療、身体・心理社会的状態のアセスメントを行い、看護問題を抽出し看護計画を立案する。
- 2) 立案した看護計画のなかで実施可能なものを実施・評価する。
- 3) 多様な医療の場における看護システム(看護の質保証対策等)と安全管理対策の実際を知る。

3. 展開

1) 術前

- 担当患者の全体像を把握するために情報を収集し、アセスメントを行い、手術前後(前、直後及び長期、継続的)に起こり得ることを予測する。
- 上記に基づき看護問題を明らかにし、看護計画を立案する。
- 立案した看護計画に基づいてケアを実施し、その効果を評価する。

2) 術中見学、術直後見学

3) 術後

- 術後患者の状態の変化をアセスメントし、必要時看護計画を修正し実施する。実施した結果を評価し、看護計画を再検討する。

* 情報収集や看護過程の展開は、原則として1人の受け持ち患者を設定し、その患者を対象として行う。

* 1日の行動計画用紙に行動計画を記入し、毎日、実習開始時に教員、実習指導者の指導を受ける。

* 行動計画用紙以外の記録物(関連図、看護計画等)は主として教員の指導を受ける。

* 患者に看護行為を実施する場合には必ず、教員、実習指導者あるいは担当看護師の監督の下に行う。

* 実習最終日の午後に、全体発表会を行う。

4. 見学実習

【手術部看護実習】

1) 目的

手術部における看護の概要、清潔区域と動線、および麻酔の概要を理解する。

- 2) 目標
 - 手術部における成人看護の概要を知る。
 - 受け持ち患者の手術の見学に先立ち手術部の設備、構造、医療機器、無菌管理などの特徴について事前に学習し、より深く手術部看護を理解する。
- 3) 日程、集合時間、集合場所等
別途連絡する。

【救急部・集中治療室看護実習】

- 1) 目的
救急部・集中治療室における成人看護の実際を理解する。
- 2) 目標
 - 救急部・集中治療室における成人看護の実際を知る。
 - 各種モニター等、医療機械の働きの概要を知る。
 - 救急部・集中治療室の設備・構造・清潔管理などの特徴を理解する。
 - 東大病院救急部・集中治療室の活動について知る。
- 3) 日程、集合時間、集合場所等
急性期看護学実習オリエンテーション時に連絡する。

5. 提出物

- 1) レポートおよび実習全記録
 - レポート課題
 - ① 手術部・手術見学実習で学んだこと A4版1枚
 - ② 救急部・集中治療室見学で学んだこと A4版1枚
 - ③ 急性期看護学実習について（レポート課題は実習中に指定する）
A4版1枚
 - 実習全記録 清書はしない
- 2) 期限 2022年9月20日（火）17:30
- 3) 提出先 成人保健・看護学教室（医学部5号館206号室）

6. 単位認定

- 1) 出席（全出席を原則とする。やむを得ない事情のある場合の欠席に限り、考慮する）
- 2) 実習内容
- 3) 提出物

7. 注意

- 1) 補講は行わない。
- 2) 病気その他、やむをえない事情で欠席または遅刻をする場合には、指導教員にできるだけ速やかに連絡をする。